

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公開番号】特開2001-11094(P2001-11094A)

【公開日】平成13年1月16日(2001.1.16)

【出願番号】特願平11-224416

【国際特許分類】

C 0 7 K	14/47	(2006.01)
A 2 1 D	13/08	(2006.01)
A 2 3 C	9/13	(2006.01)
A 2 3 C	9/152	(2006.01)
A 2 3 G	3/00	(2006.01)
A 2 3 G	3/34	(2006.01)
A 2 3 G	4/00	(2006.01)
A 2 3 G	9/32	(2006.01)
A 2 3 G	9/44	(2006.01)
A 2 3 G	9/52	(2006.01)
A 2 3 K	1/16	(2006.01)
A 2 3 L	1/30	(2006.01)
A 6 1 K	8/96	(2006.01)
A 6 1 K	8/00	(2006.01)
A 6 1 Q	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/20	(2006.01)
C 0 7 K	1/16	(2006.01)
C 1 1 D	7/46	(2006.01)
A 2 3 L	2/52	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	14/47	
A 2 1 D	13/08	
A 2 3 C	9/13	
A 2 3 C	9/152	
A 2 3 G	3/00	
A 2 3 G	3/00	1 0 1
A 2 3 G	3/30	
A 2 3 G	9/02	
A 2 3 K	1/16	3 0 4 A
A 2 3 L	1/30	A
A 6 1 K	7/00	K
A 6 1 K	7/16	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 K	35/20	
C 0 7 K	1/16	
C 1 1 D	7/46	
A 2 3 L	2/00	F

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月27日(2006.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

免疫していない牛、ヤギ、羊、馬、豚、犬および猫から選ばれる少なくとも1種の産乳動物由来の初乳の乳ホエータンパク成分中に含有される関節リウマチ滑膜細胞増殖抑制作用を有する分子量1Kないし30Kの範囲からなる生理活性物質であることを特徴とする乳ホエータンパク中の生理活性物質。

【請求項2】

請求項1に記載する乳ホエータンパク中の生理活性物質において、前記生理活性物質が分子量12,500～14,700及び/または分子量17,000～19,000とであって、下表に示すようなアミノ酸組成比を有することを特徴とする乳ホエータンパク中の生理活性物質。

【請求項3】

牛、ヤギ、羊、馬、豚、犬および猫から選ばれる少なくとも1種の産乳動物を免疫原として不活化ウイルス、不活化細菌もしくはアジュバントまたはその混合物を用いて免疫して得られる乳ホエーのタンパク中に產生する関節リウマチ滑膜細胞増殖抑制作用を有する生理活性物質であって、分子量が1Kないし30Kの範囲からなる生理活性物質を得ることを特徴とする乳ホエータンパク中の生理活性物質の製造法。

【請求項4】

請求項3に記載する乳ホエータンパク中の生理活性物質の製造法において、前記生理活性物質が分子量12,500～14,700及び/または分子量17,000～19,000とであって、下表に示すようなアミノ酸組成比を有することを特徴とする乳ホエータンパク中の生理活性物質の製造法。